



システム更新に伴う実習室利用方法の変更

2007年度からの新システムへの移行に伴い、総合メディア基盤センター内および各部署の実習室（総合メディア基盤センターが整備したもの）の利用方法に変更が生じます。

① 総合メディア基盤センター実習室の構成が変わります

これまで総合メディア基盤センター内の実習室は第1～第3までの3部屋が授業用、第4実習室が自習用という構成でしたが、既にアナウンスしてあるとおり、2007年度以降は構成が以下のように変更され、授業用が2部屋、自習室が1部屋、オープンスペースが1部屋となります。

- 旧第1、第3実習室が、新たに第1、第2実習室となり、授業用の部屋になります。
- 旧第4実習室が、新たに自習室となり、従来通り自習用の部屋となります。
- 旧第2実習室はオープンスペースとなり、ノートパソコンの利用が主となる部屋になります。

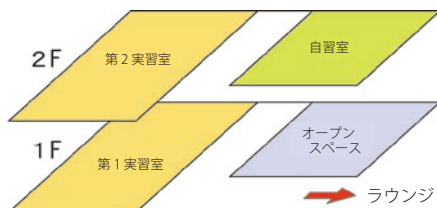


図1 2007年度以降の総合メディア基盤センター実習室配置図

第1、第2実習室、自習室については従来通り実習用パソコンが設置されます。オープンスペースには、Windowsパソコン、Macintosh及び、ノートパソコン用電源が設置される予定です。学内用認証無線LANは、全ての部屋で使用できます。

② 授業用アカウントが管理しやすくなります

実習室で使用できる授業用アカウントについて、所属、氏名、連絡先等の本人情報を、利用者本人もしくは授業担当教員が、Web画面から登録できるようになり、利用者の管理がしやすくなります。パスワードの変更についても、同じ画面から行えます。また、パソコンへのログインの可否等を、授業を担当する教員が制御できるようになります。

③ 実習室パソコンのログインアカウントが追加されます

2007年度より、実習室パソコンへのログインは、従来の授業用アカウントに加え、現在ファイアウォール認証やVPN接続認証に使用しているネットワークIDでも可能になります。通年講義等、半期を超えて実施される授業等については、こちらの利用をお勧めします。

旧システムからのデータの移行方法等、詳細については追ってアナウンス致しますので、総合メディア基盤センターからの情報にご留意下さい。



info. Core PRESS No.05 (2006年10月号)
記載内容の訂正について

実習室パソコンの「主なWindowsアプリケーション」について、下記の変更がありました。

変更前 Microsoft Office XP → 変更後 Microsoft Office 2007

金沢大学 総合メディア基盤センター
Information Media Center of Kanazawa University

〒920-1192 石川県金沢市角間町
Tel: 076-234-6910 Fax: 076-234-6918
e-mail: jimu@imc.kanazawa-u.ac.jp
URL: http://www.gipc.kanazawa-u.ac.jp

info. Core PRESS

No. 06

2007

1

January

CONTENTS :

システム更新に伴う実習室利用方法の変更

■ 部門報告 ■

「現代GP第2回シンポジウム」のご案内
— 情報教育部門

連載(第5回) Excel からデータベースへ
— 学術情報部門

急増する spam メールとその対策
— 情報基盤部門

金沢大学総合メディア基盤センター
情報誌

急増する spam メールとその対策

spam メールとは、営利目的等のために無作為に大量配信される電子メールを指します。spamメールの増加は金沢大学に限らず世界的に大きな問題となっていますが、特にここ1年ほどの間にspamメールはこれまでに無いほどの爆発的な増大を見せています。図1は金沢大学に到来したspamメールと通常メールの数を各月毎にまとめたものですが、通常メールの数はさほど変動が見られないのに対し、spamメールは前年の同時期に比べて倍以上に増えています。

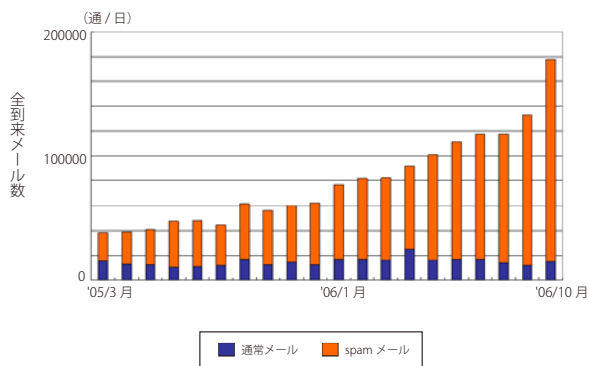


図1 金沢大学に到来する spam メール、通常メールの数 (各月毎)

金沢大学では、メール配信経路の大学入り口部分でウィルス・spamメールのチェックを行い、spamと判断されたメールは隔離した上で、一日一回リストをユーザに送信しています。しかしながら、最近のspamメールの爆発的な増大はspamメールチェックに深刻な負荷を与えており、一時的な過大負荷によるメール配信遅延などのトラブルが、完全には予防できない状態です。とはいえ、spamメールの割合が全体の9割を超える現状では、spamチェックを止めるとメールの流量は一気に10倍以上に増大するため、メール配送経路に回復困難なダメージを与える可能性があります。過大負荷に対しては、適宜、設備投資することで解決を図ってはいますが、これは詰まる所たちごっこであり、根本的に解決するにはspamメールの到来量を減少させるしかありません。電子メールユーザの皆様にも、ご協力をお願いいたします。

必要な場合を除き、インターネットに電子メールを晒さない

spamメール送信者は、メールアドレスの収集を主にWebサイトから行っています。本当に必要な場合を除き、Webサイトへのメールアドレス掲載はお控えください。掲載する場合も、自動収集を避けるために画像にするか書式を工夫する、mailtoリンクは使用しない等の配慮をお願いいたします。

「配送保留メール確認リスト一覧」にご注意ください

spamチェックで隔離されたメールは、一覧表となって1日1回各ユーザに送られます。spamチェックのフィルタは、spamメールを逃さず、且つ、正常メールを誤って隔離しないよう、常時チューニングを継続していますが、各メールの要・不要は最終的には受信者の主観的判断であり、自動処理でこれを完璧にこなす事は事実上不可能です。万が一、正常なメールが隔離されてしまう場合に備え、確認リストは必ずご覧頂き、必要に応じて再配送処理を行って下さい。

「現代GP第2回シンポジウム」のご案内

平成16年度から始まりました現代GPプログラム「IT教育用素材集の開発とIT教育の推進」もこの3月で終了となります。みなさんご協力を受け、当センターが一つの核となり取り組んできたこのプログラムにより、大学全体としてe-Learningが浸透しつつあると考えております。このプログラムにより多くの教材が開発され、e-Learningを取り入れた授業も増加傾向にあります。2月7日には、これまでのまとめのシンポジウムを「e-Learning 金沢大学方式の全容～オリジナル教材による全学展開の成果と展望～」というタイトルで開催いたします。これまでの成果に加えて、他大学の先進的なe-Learningの事例の報告もなされます。また学生e-Learning作品コンテストも同時に開催されます。多くのご来場をお待ちしております。

現代GP第2回シンポジウム

e-Learning 金沢大学方式の全容
～オリジナル教材による全学展開の成果と展望～

平成19年2月7日(水)
時間：13:00～15:30
会場：自然科学研究科 大会議室



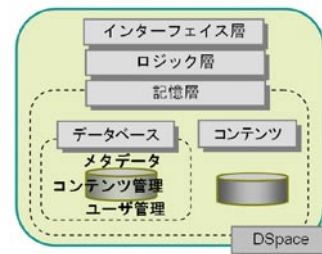
……詳しくは以下のURLをご覧ください
<http://www.el.kanazawa-u.ac.jp/symp02>

データベースの活用例 その2

現在、世界の主要大学で学術情報リポジトリの設置が進んでいます。リポジトリとは、元々「貯蔵庫」を指す英単語で、学術情報リポジトリは、研究者が作成した(論文や学会発表資料などの)研究成果物を、所属機関のサーバに組織的に収集・保存し、ネット上に公開するシステムを指します。金沢大学でも附属図書館が、KURA(金沢大学学術情報リポジトリ: Kanazawa University Repository for Academic resources)の名称でサービスを開始しました。今回は、KURAでも利用されている機関リポジトリ構築・運用を行なうための汎用ソフトウェアであるDSpaceを紹介いたします。

DSpace

DSpaceは、HP研究所とMITが研究・開発したオープンソースのリポジトリ構築ソフトウェアです。主な機能は、コンテンツとその情報(メタデータ)の管理です。保存できるコンテンツは、テキストデータ、イメージ、音声、動画など、データの形式を問いません。また、メタデータとして、各コンテンツのタイトルや作成者、公開日、要旨などが管理できます。DSpaceの構成を図に示します。利用者からは見えませんが、三層構造となっており、その最下層でデータベースが利用されています。



学内学術資料への応用

DSpaceで取り扱うメタデータは世界標準(Dublin Core)に対応しているため、保存した情報の共有や交換を世界規模で広く行なうことが可能です。学術情報部門では、DSpaceを用いて、学内に蓄積されている膨大なデジタルコンテンツ(KURAで取り扱わない写真・動画などのコレクション・実験結果など)を対象に、「学術情報リポジトリ」の公開準備を進めています。

●今回は当部門で構築中の「学術情報リポジトリ」の概要を紹介いたします。